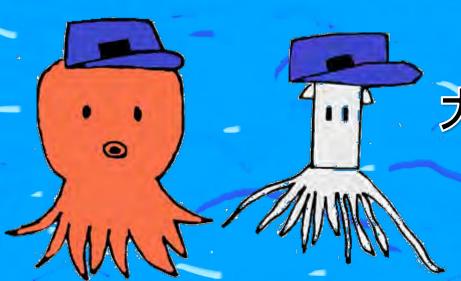
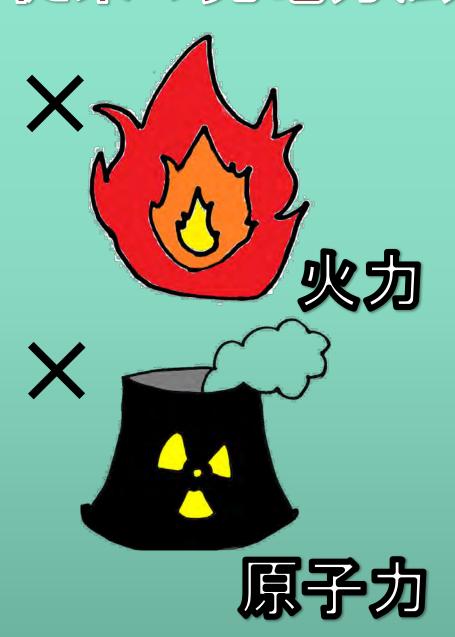
海洋幾電は海の宝

~ 部んなで巡る海の発電所~

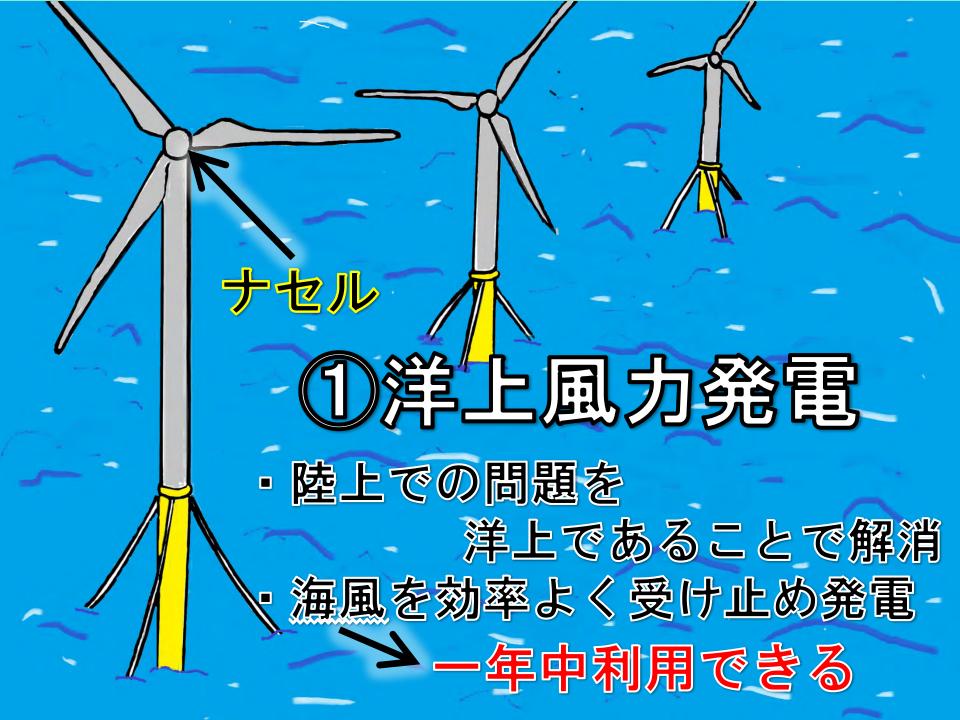


大阪府立市岡高等学校 杉香 春陽 鈴木 洋祐

従来の発電方法







2海流筠電

海流

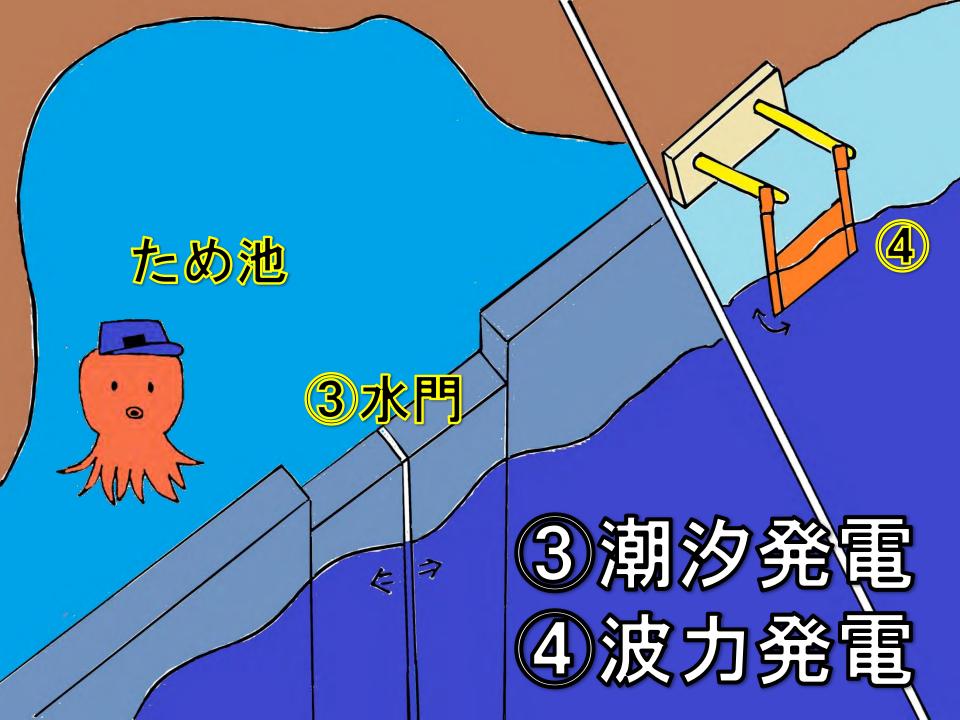
- 海流の流れの速さを利用

・係留索によって

深度の調節可能

一不規則な海流にも対応

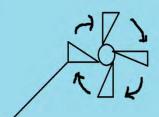
係 留 素



③潮汐發電

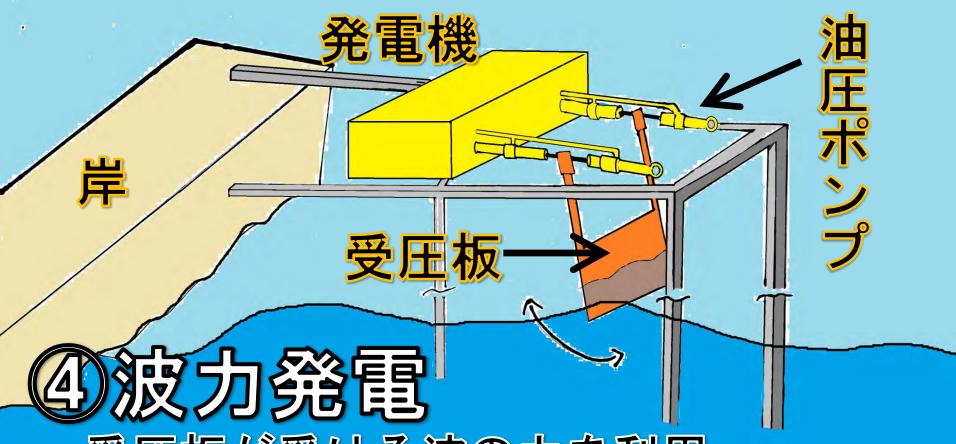
置工多

タービン



ため池

海



・受圧板が受ける波の力を利用

日本周辺の波の力を電気換算すると 原発30基分以上!

・越波型などいろいろな方式がある

希望と未来を託された一海洋発電は海の宝川

これからの将来、化石資源が枯渇していく中で再生可能エネルギーが必要とされています。 日本という島国だからこそできるこのような 発電方法があれば、自国だけでなく、周辺国の 電気まで賄えるようになるかもしれません。



ご乗船

ありがとうございました

参考文献

- ・海洋エネルギー利用技術第2版発電のしくみとその事例 近藤俶郎
- ·Newton 2012年 1月号 ·海洋深層水利用学 藤田大介 高橋正征
- ・ "風力よ"エタノール化からトウモロコシを救え 村原正隆 関和市